

2014年1月8日

国内大手企業連合が協同し日米ベンチャーの掛け橋を目指す ベンチャー投資育成ファンド WiL Fund I, L.P.に対する戦略的 LP 投資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 能見公一）は、WiL GPI, L.P.（以下 WiL）（本社：米国パロアルト、CEO：伊佐山元）が General Partner として設立し、国内大手企業連合による日米ベンチャーの掛け橋を目指すベンチャー投資育成ファンド WiL Fund I, L.P.に 100 百万ドルを上限とする戦略的 LP 投資を行うことを決定しました。

WiL Fund I, L.P.は、日米のベンチャー投資業界において稀有な実績をもつ人材が集集、さらに異業種からなる国内大手企業連合による Limited Partner（以下、LP）も擁した、これまでになかったベンチャー支援スキームを形成しております。

投資先としては、テレコム・メディア・テクノロジー等の次世代の国富を担うベンチャー企業を想定しています。

INCJ では、従来より日本におけるベンチャー企業をめぐるエコシステムの確立に向け、国際的な展開可能性がある有望なベンチャー企業と大企業のコラボレーションを実施するとともに、双方の課題解決に必要な資金を提供する活動を行っております。しかしながら INCJ のみでは最適なベンチャー企業および大企業を悉皆的に調査、選定することには限界があり、INCJ と投資哲学が一致する中立的な協業パートナーを求めておりました。

WiL はベンチャー投資育成ファンドを設立、東京・シリコンバレーの2拠点で活動し、日本発ベンチャーのグローバル展開サポート、米国発ベンチャーの日本進出・事業提携の支援を行います。加えて、LP を中心としてベンチャーと日本の大企業との協業や大企業からのカーブアウトによるベンチャー企業創造の促進も目指し、厳選したベンチャーに対して徹底したハンズオン投資を行なうことを指向しております。また、投資活動だけでなく LP からのシリコンバレー出向者に対し、不定期で現役経営者・VC・大学専門家によるセミナーを開催、業界のエキスパートやイベント等に結びつける機会を提供します。一方、投資先企業については、単なる仲介だけでなく、日米におけるビジネス連携の提案や JV 設立の支援等も行っていく予定です。

INCJ は、WiL Fund I, L.P.への戦略的 LP 投資を通じ、大企業がベンチャー企業と積極的に協同する風土の構築を促すとともに、日本発グローバルベンチャーの創出を目指します。また、ひいては、新たな事業の開拓に挑戦し、日米の懸け橋となるベン

チャー企業を創出することで、日本の大企業・ベンチャーを巻き込んだ革新的なオープンイノベーションの実現を目指します。

WiL GP について

設立	2013 年 10 月
事業内容	ベンチャー投資業務
本社所在地	米国カリフォルニア州パロアルト市
CEO	伊佐山 元（いさやま げん）

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計 54 件・総額約 6800 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構 企画調整室 伊藤・相田・望月・畑
東京都千代田区丸の内 1-4-1
丸の内永楽ビルディング 2 1 階
電 話：03-5218-7200（大代表）